



No. 167

58



おもな
内容

- 6月26日に投開票……………②～③
- 地域ぐるみで青少年の健全な育成を④～⑤
- 7月23日、24日に川辺おどり……………⑥
- 図書館だより……………⑦
- 新山川橋完成間近……………⑧
- まちかど……………⑩～⑪

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷KK



ハッ
手を上げて!

春の交通安全運動期間中、町内三つの保育園で交通安全教室が開かれました。園児たちはお巡りさんの言うことをよく聞いて、横断歩道の渡り方をいっしょうけんめい覚えめました。(5月11日、上米田保育園で)

投票開票

参議院選挙

「比例代表制」に

比例代表選挙

(旧全国区)

六月二十六日に参議院議員選

挙の投票開票が行われます。今回

の選挙から全国区制が改正され

新たに「比例代表制」が導入さ

れました。あなたの大切な一票

を生かすため、新しい選挙制度

を十分理解しましょう。

政党などの
選択は……。

立候補は、各政党や政治団体が作成した候補者名簿を、選挙

個人から政党
への選挙

投票の方法で最も大きく変わった点は「比例代表制」を採用入れたことです。この制度の導入により、これまでのような候補者個人への投票から政党や政治団体への投票へと形を変えました。

投票は政党
などの名称で

長に提出する方法で行います。名簿には候補者の名前とそれぞれの順位が記載されています。したがって有権者は、名簿や各政党などの政策をよく見極めたうえで、投票することになります。

投票用紙には政党などの名称または略称を記入します。投票所に政党等の名称、略称、順位をつけた候補者の名前が掲示されていますから、よく考えて政党などの名称または略称を書いてください。

当選人の
決定は……。

当選人の数は、各政党などの得票数に比例しておのおの割り当てられます。割り当てられた数により、各政党などの候補者名簿の上位から順に当選人が決まります。

制度はこれ
までと同じ

選挙区選出議員選挙 (旧地方区)

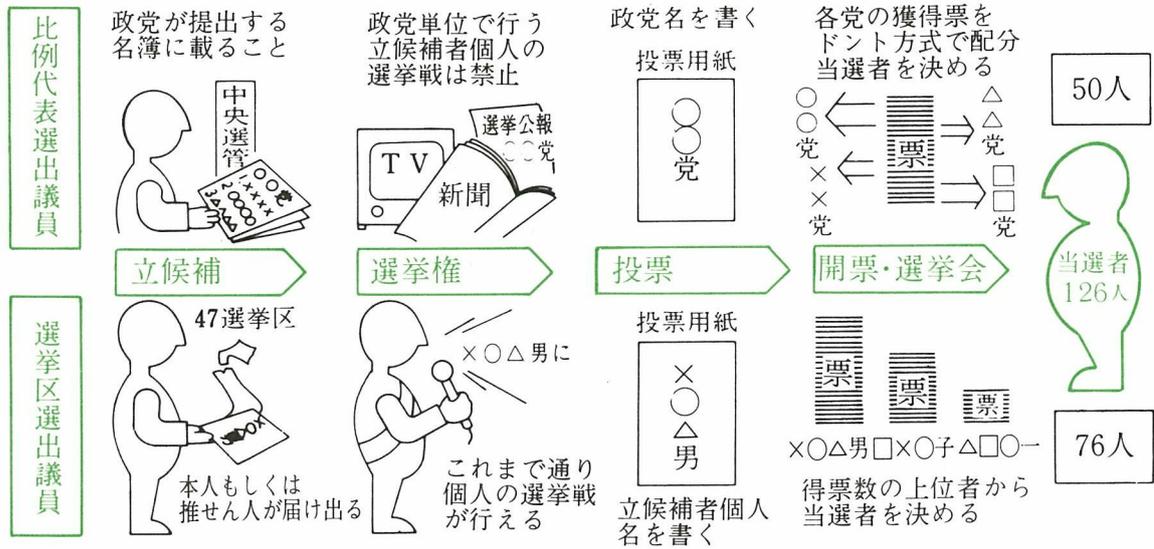
投票は候補者
個人名を

旧地方区については、「選挙区選出議員選挙」と呼び方が変わりましたが、制度はこれまでと同じです。候補者個人に投票します。投票用紙は候補者個人名を記入します。投票記載所に候補者の氏名などが掲示されていますので、よく確認をして投票してください。

6月26日に

全国区が

参議院選挙の新しいしくみ



投票は 午前7時—午後6時

任期満了に伴う参議院議員選挙は、六月三日公示、六月二十六日投票の日程で行われます。

有権者 昭和三十八年六月二十七日までに生まれた人で、五十八年三月一日以前から本町に住民登録してある人。

投票時間 午前七時から午後六時まで。

代理投票 目や手が不自由なため、自分で字が書けない人、または字を知らない人は代理投票ができます。投票所で係員に申し出てください。

不在者投票 投票日に仕事で出張が決まっていたり、出産などのため投票所へ行けない人は不在者投票ができます。

投票日に投票所へ行けない理由を宣誓書に記入すれば、投票できます。この場合は、印鑑が必要です。不在者投票ができるのは、六月三日から六月二十五日までの午前八時半から午後五時まで。

郵便による不在者投票 身体に重度の障害があり歩行困難な人は郵便で投票ができます。郵便による投票が認められるのは①身体障害者福祉法により交付されている身体障害者手帳

に両下肢、もしくは体幹の障害の程度が一級または二級、心臓・じん臓、呼吸器の障害が一級もしくは三級であると記されている人②戦傷病者特別援護法により交付された戦傷病者手帳に両下肢もしくは体幹の障害の程度が特別項症から第二項症まで、心臓、じん臓、呼吸器の障害が特別項症から第三項症までと記された人——などの場合。

投票用紙などの請求手続きは六月二十二日までに。

【開票】 投票当日の午後七時から中央公民館で行います。開票を参観する人は、会場に掲示してある「参観者心得」に従って秩序を乱さないようにしてください。

投票票に関する問い合わせは町選挙管理委員会(電2511)まで。



投票は午前7時から午後6時まで
中川辺投票所で



四月三十日に開かれた青少年育成町民会議総会Ⅱ中央公民館で

地域ぐるみで

青少年の健全な育成を

58年度青少年健全育成活動始まる

次代を担う青少年の健全な育成を図るための「昭和五十八年度川辺町青少年育成町民会議総会」が、四月三十日中央公民館大研修室で開かれました。この日はPTA代表ら百十五人が出席し、本年度における青少年の育成方針などが三時間余りにわたって熱心に討議されました。

子供は大切な後継者

青少年の健全育成の基本としてまず第一に、大人が自らの姿勢を見直し「子供は親にとってかけがえないものであり、地域にとって大切な後継者である」ことを自覚することです。

教育は人づくり

教育は、社会における人づくりの営みです。青少年の教育を学校という枠の中でのみ考え、悩んでも、増えつづける青少年の難問を解決することはできません。何よりも大切なことは、す

べての町民が、教育関係機関、団体をはじめ、学校、社会、家庭の教育機能と相互に関連を持ち、協力し合って青少年に深い理解と愛情で接し、健全な育成を図ることです。

青少年が自立心を養い、希望と責任を持つ立派な社会人になることは、すべての町民の願いなのです。

第二には、青少年が団体行動を通じて連帯感と郷土愛を培うよう指導していくことです。そのためには、親自身が青少年の団体行動に対する認識を高め、そして活動内容も地域を主体としたものから町全体を主体としたものに発展させ、青少年が積極的に参加できるよう導いていくことが大切なのです。



幼児期からしっかりしつけることが大切＝第1保育園で

地域に根ざした活動を

「総会」では、当会議の本年度重点目標として次のことを決めました。
一、地域や各関係団体において小集会を実施し、地域に根ざした健全育成を推進する。

二、青少年自らが伸びようとする意欲を持つように、地域活動への積極的参加を推進する。
三、家庭教育学級、公民館講座をいっそう充実させ、親自身の学習の機会を多くする。
四、育成指導者の資質を向上させるための研修会を実施する。
五、〃ねがう子ども像〃に向けて各関係団体が活動し、町民運動を徹底させる。

家庭では基本的なしつけを

〃ねがう子ども像〃を目指して

親は子供の言い分を聞くだけでなく、しつけなければならぬことはきちんとしつける責任があります。

当協議会では、各家庭で基本的なしつけをしておうと二つの〃ねがう子ども像〃を掲げました。

- 一、がんばる子
- 一、思いやりのある子
- 一、自分でやる子

この子ども像を目指して、親は子供の幼児期から高等学校期までをその段階ごとにしつけをしつけることが大切なのです。

幼児期では…

- ◇ 「かんしゃく」を起こす子供に①我慢すること②耐えること③待つこと④ゆずり合うこと——を体験させる。
- ◇ 社会生活の基本となる「他人に迷惑をかけない」ということを中心にしつける。
- ◇ 自分のことは自分でするよう教え、手を加えたりしない。

小学校低学 中期 小学校高学 年期では…

- ◇ 適度に「失敗」や「つまづき」の経験を与え、①やり直すこと②気持ちを切り替えて工夫すること——などを体験させる。
- ◇ 周囲の人たちとのつながりの中で、自分の行為の善悪を判断させる。
- ◇ 「得意なこととは何か」あるいは「自分ができることは何か」など自分の良さに気付かせる。

小学校高学 年期では…

- ◇ 自分なりに考えを持ち、すすんで行動できる場を設ける。自分の目標に向けて行動する集中力を持たせる。
- ◇ 人の好意や善意に対し①感謝の気持ちで受け入れること②ゆずり合うこと——など思いやりの心を育てる。
- ◇ 友達との協同作業を通じて「協力すること」の大切さを認識させる。

高等学校期 では…

- ◇ 将来、自分にふさわしい道に進むことの大切さについて話し合う。
- ◇ ①汗を流して働くこと②隣人と交流すること③他人に奉仕すること——などを体験させる。
- ◇ 集団の中の自分の存在を改めて認識させる。

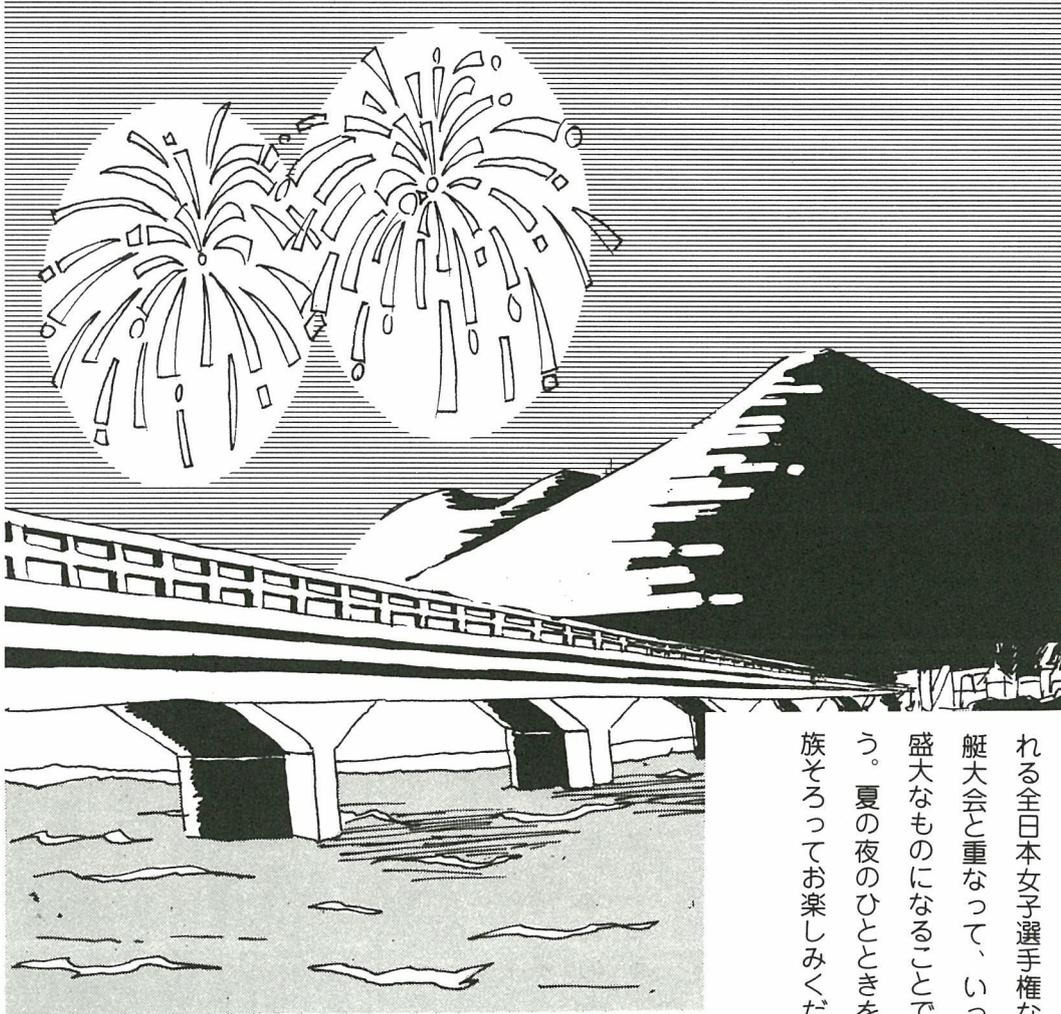
◇ 自分独りで将来を考えさせる。

◇ 人の価値を勉強の成績だけで判断することなく、お互いの長所、短所を理解し合い、それを生かすことを教える。

◇ 自分の行動に責任を持たせるとともに、自分の意志がなくてもやらなければならないことがある——ということを自覚させる。

”川辺おどり”

十年ぶりに打上花火



町商工会青年部（前島智則部長）主催の川辺おどりが七月二十三、二十四の両日、中央公民館と同駐車場で開かれます。

今年も十年ぶりに花火が打ち上げられ、同日に行われる全日本女子選手権など漕艇大会と重なって、いっそう盛大なものになることでしょう。夏の夜のひとときを、家族そろってお楽しみください。

23日

◇開会式（午後5時30分）

前島智則町商工会青年部長、奥田信義商工会長、遠藤稔町長が中央公民館前で開会のあいさつ。このあとテープカットに続いて小学校鼓笛隊の演奏による開会パレードが繰り広げられます。

◇金魚すくい・スイカのサービス（午後6時～8時） 公民館駐車場では、金魚すくいと冷しスイカの無料サービス。

◇ミニ商店街（午後6時～） 昨年の産業文化祭に引き続き公民館駐車場にミニ商店街が並びます。日用品や食料品をはじめいろいろな商品が大特価で即売されます。

◇打上花火（午後8時～8時30分） 数百発の花火が夏の夜空に打ち上げられ、漕艇大会の選手たちを歓迎します。

◇盆おどり（午後7時～午後11時） 川辺おどりのハイライトです。場内に設けた二つのやぐらを囲み、婦人会員や民謡クラブ員らの手振り、足さばきにならって踊りの輪を広げましょう。

24日

◇子ども遊園地（午前10時～午後5時30分） 駐車場の一部に子ども遊園地コーナーを開設。フワフワなどちびっ子たちの楽しみがいっぱいです。

フワフワ 子どもたちの人気の的であるフワフワは、キャブテンキッドが登場。空気のでくくらませたもので、高さは七メートル、色はブルーで遠くからでもよく目立ちます。

◇変型自転車 サーカスでおなじみの変型自転車が十四台登場。ミニミニ自転車にも挑戦してね。

◇ミニ商店街（午前10時～午後7時） お買得品がまだまだ出てきます。

◇郷土芸能（午前10時～） 公民館大ホールで、町青年団婦人会、こども育成協議会、民謡クラブなどが、いろいろな催しを披露。カラオケ大会も行われます。歌に自信のある人はどうぞステージへ。

◇盆おどり（午後7時～11時） 二日間にわたる川辺おどりもこれが最後。しめくくりはやっぱり盆おどり。見ているばかりのあなたも思い切って踊ってみませんか。

図書室だより

あなたの地域に「読書グループ」をつくりませんか もっと図書室を利用して

利用者の七割は小中学生

新刊図書が入りました

活字が大きく なりました

あざみ読書会が 発 足

公民館図書室では、現在約三千五百冊の本をそろえ、みなさんに利用していただいています。利用者も七百六十四人となりましたが、そのうちの七割は小、中学生となっているため、当図書室では一般の人たちにも気軽に図書室を利用し、読書を楽しんでいただくとう「読書グループ」づくりを呼びかけています。

当図書室では、本年度新たに百四十一冊の本を追加しました。「気くばりのすすめ」「序の舞」「勇者は語らず」「積木くずし」「俳句の本」「徳川家康」「生きることの意味」「佐川君からの手紙」「忘れられない本」などで、みなさんのご利用をお待ちしています。

当図書室に今回、活字が大きく読みやすい本が十冊ほど入りました。これは、お年寄りや視力の弱い人たちにも読書を楽しんでもらおうと購入したもので、今後とも順次増やしていくことにしています。

本を読み話し合いの場を通して、ものの見方、考え方を深め、地域に読書の輪を広げようと、下麻生の井戸登枝子さん(五五)らが中心となって、あざみ読書会が発足しました。会員は十二人で、毎月第三木曜日午前十時から中央公民館図書室において読書会を開いています。

また、八月に行われる可茂地区県読書推進大会にも参加することになっています。

本の寄贈 ありがとう

五十六年の開館以来、利用者のみなさんからたくさんの方が寄贈されました。みなさんのご好意に対し、厚くお礼申し上げます。

このたび下麻生の羽田さんから六人の方から本の寄贈がありました。

- 羽田 章子さん 36歳 下麻生
- 平野 伸彦さん 17歳 比久見
- 今井 宏治さん 13歳 西栃井
- 近藤 雅勅さん 12歳 下川辺
- 坪内 敦さん 12歳 石 神
- 天池 慶明さん 8歳 中川辺

貸出日 毎週火・木・土曜日
午前九時～午後四時

貸出期間 一人一回三冊まで二週間
読書グループは、一人につき三冊までを一カ月間

詳しいことは、教育委員会で(電2650)

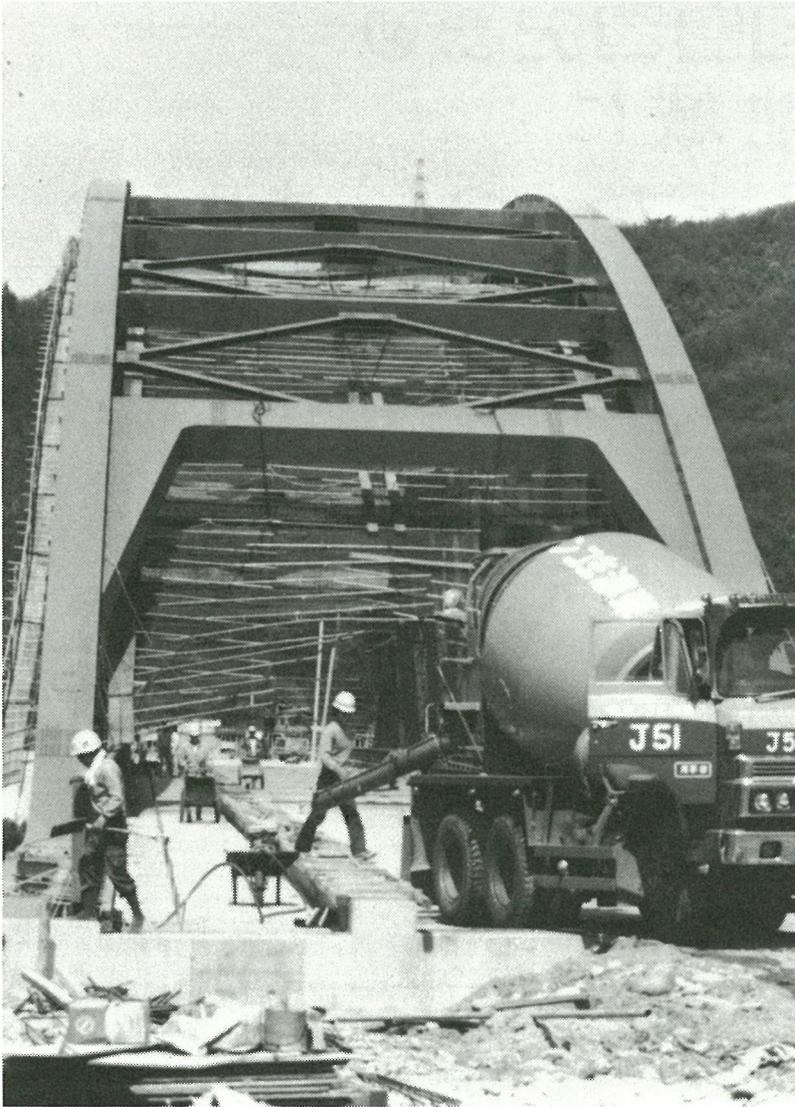


利用者の七割は小、中学生＝中央公民館図書室で

完成まであと一歩

新山川橋

八月八日に開通式



八月の完成を目指して工事が急ピッチで進められている新山川橋。比久見側で

石神と比久見を結ぶ新山川橋の完成まであと一歩。八月八日の開通式を前に、いま急ピッチで工事が進められています。

この橋の総工費は約十四億円で、五十一年度から測量、用地買収にかかり七年を経た現在、本体部分の工事も終わり、八月にはようやく完成することになりました。

飛驒川にかかる町内で四番目のこの橋は「夢のかけ橋」として、本町の発展に大きな期待がかけられています。

三代夫婦を募集

町では、八月八日午前十時から行われる新山川橋の開通式に渡り初めを行う三代夫婦を次のとおり募集しています。

▽応募資格

一、町内に居住し、直系血族（養子縁組を含む）で構成される三代夫婦であること。

二、三代夫婦とともに健康で、式典当日出席できること。

▽募集組数 三組

▽応募締め切り 七月九日

▽応募・問い合わせ先 役場

土木課まで（電話2511内線45）

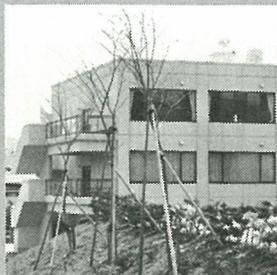
応募者が多数のときは、町選考委員会で出席者を決定します。

ミニ・ニュース

「ゲヤキ」を寄贈

中川辺大北の水野郁雄さん（五五）からこのほど、りっぱな「ゲヤキ」三本が寄贈され中央公民館広場東側に植えられました。写真。

水野さんは、永年木材業を営み、木材に対する感謝の気持ちから「町とともに大きくなって」と寄贈されたものです。



緑の羽根

国土緑化推進運動の一環として行なった「緑の羽根募金運動」については、みなさんのご協力により五万一千七十二円集まりました。

この募金は、国土緑化岐阜県推進委員会へ送られ、植樹（公共の公園等）などの費用にあてられます。みなさんのご協力を厚くお礼

お世話になりました

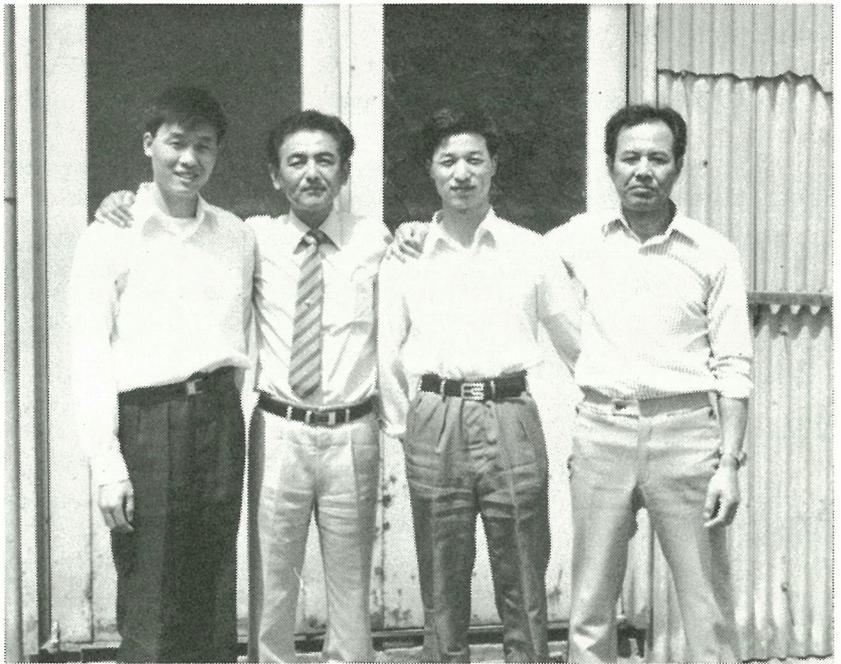
経さん・王さんが帰国

一年間の研修を終えて五月二十五日帰国の途につきました。

この二人は経明海さん(三三)と王義利さん(三三)で、昨年五月から会社の寮に住み込み、養鶏とブロイラーの研修を続けていたものです。

五月十四日、会社主催の送別会が盛大に催され、一年間いっしょに働いた従業員のみなさんといつまでも別れを惜しんでいました。

町からは十八日に感謝状と記念品が贈られ、二人は「川辺町のみなさんには、大変お世話になりました。せっかく知り合いになれたのに別れることは残念です。でも中国人も日本人も心一つですから、この研修が日中友好のために役立つことを願っています」とたどたどしい日本語で語ってくれました。



左から経さん、桜井社長、王さん、村山専務＝福島川辺物産で



根まわし

「選挙に向けての根まわしは万全だ」とか「きょうの会議は根まわしが足りなかった」

などと、政治家ばかりでなくサラリーマンも「根まわし」という言葉をよく口にするようです。

なにか事を行う前に、あらかじめ関係者たちと話し合っで了解を得ておくのが「根まわし」。「好きな言葉じゃないけれど、やっぱり根まわしは必要だよ」といったりする

ように、どちらかといえばマイナス・イメージを伴っています。しかし、もともとはそんなニュアンスを持った言葉ではありませんでした。

大きな木を枯らさずスムーズに移植するため、一、二年前から周囲の土を掘り、主な根だけ残して大部分の根を切る

「根まわし」は、木に生えるだけなので、移しやすければかりでなく、果樹の場合は実りをよくするための処置でもあります。

「根まわし」は、木について言う場合は大事な言葉なのに人間がからむと語感が悪くなるのは、多分人間がいけないのでしよう。

申し上げます。

「交通遺児へ」と寄付

四月二十三日、下麻生の前島緑(二二)さんから下麻生駐在所へ現金千円が届けられました。このお金は昨年、町で拾い警察に届けたところ、落とし主が現われなかったため緑さんに戻されたもので「交通遺児のために役立ててください」と寄付したものです。

調理器具を寄贈

五十七年度の町食生活改善推進協議会(加藤せつ子会長)から、中央公民館調理室にハンドミキサーなど二十一個が寄贈されました。この調理器具は、当協議会事業の剰余金で購入したもので、四月二十八日町教育委員会へ目録を添えて渡されました。写真。



* まちかど

毎日家庭に閉じ込められている主婦に、月一回健康体操を楽しんで汗を流し、日ごろの運動不足、ストレスを解消してもらおうと、婦人健康学級が開講しました。

五月十七日、中央公民館大ホールで行われた開講式には、二十歳から六十八歳までの主婦約四十人が参加。式が終わった後、川合真由美先生（美濃加茂市蜂屋町）の指導で軽快な音楽に合わせてジャズダンスなどを楽しみ、汗だくになって体力づくりをしました。

参加者は「汗を流すということは気持ちがいいですね。月に二回ぐらいやってほしいわ」と話していました。

健康体操で“汗”

婦人健康学級が開講



健康体操を楽しむ主婦ら
中央公民館大ホールで



小栗美好さん
永年交通安全運動の推進と交通事故



防止のために尽くした功績が認められ、五月十一日、県庁大会議室において行われた表彰式では、県警察本部長・県交通安全協会会長連名による表彰を受けました。（61歳・比久見）

佐伯武善さん 本年三月に行われた可茂地区養蚕決起大



前島智則さん 本年度から町商工会青年部長に就任されました。（37歳・下麻

会において、五十七年度県多収蘭競技会一ト突破の部で表彰されました。（60歳・比久見）



加藤栄樹さん 四月一日付で子ども会育成指導者に委嘱されました。（50歳・石神）

桜井たまゑさん 本年度の町農業振興協議会婦人部長に

生)

就任されました。（59歳・石神）

このほかの役員は次のみなさん（敬称略）

▽副部長 桜井英子（下川辺）
▽書記・会計 所たまゑ（下吉田）
監事 井戸清子（下麻生）、栗山愛子（中川辺）

川辺中が優勝

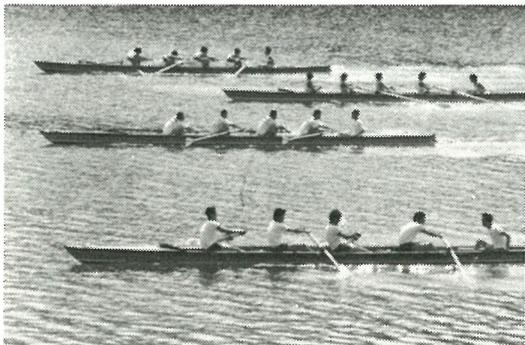
県レガッタ

男子シングルの山田さん

第三回岐阜日日県レガッタ（県漕艇協会・岐阜日日新聞社・岐阜放送主催）が五月二十一日、二十二日の両日、川辺漕艇場で行われました。

男子ナックルフォア二部では川辺中が健闘。決勝戦にはA・B両チームが出場し、高校生チームを押さえて、Aチームがみごと優勝、Bチームも四位に入賞しました。また、川辺中に今年誕生したばかりの女子チームも六位に入賞し、七月に行われる中学選手権に期待されています。

男子シングルの部では、下吉田の山田伸二選手（三三）が一着でゴール、下麻生の渡辺正人



健闘する川辺中 手前から二番目

ふる里写真史「下麻生」を発売

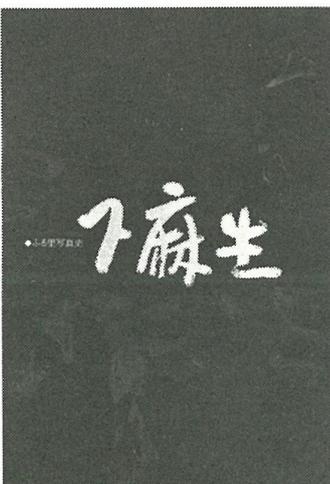
佐合嘉太郎さんが編集

下麻生にこのほど、郷土の歴史・文化などを写真で紹介した「ふる里写真史」下麻生が、

きました。

この写真史は、ふる里写真史編集発行委員会（佐合嘉太郎委員長）が、かつて

港町として栄えた下麻生の移り変わりなどを写真集にして後世に伝えようと村瀬寛之さん（云三方の一室を借り、およそ二年がかりで編集したも



ふる里写真史「下麻生」の表紙

のです。

大きさはA4版で、表紙はりっぱな衣張り。全ページが写真で構成されており、戦国時代から現代に至るまでの商工業の発展、自然の変化、教育・文化の移り変わりなどが詳しく紹介され、旧下麻生町であった中麻生（現在の七宗町）、麻川村（現在の上川辺）も掲載されています。販売価格は一部四千円で、当委員会では六月下旬から購入の申し込みを受け付けることにしています。



井上真里ちゃん(3歳)英幸くん(2歳)＝福島 (敏明さん・由紀美さん長女・長男)



初優勝した「中川辺第二」＝山楠公園グラウンドで

青空の下で熱戦

中日杯ゲートボール

お年寄りの健康づくりを兼ねた第一回中日杯争奪ゲートボール大会（町連合福寿会主催・中日新聞社後援）が五月十八日、山楠公園グラウンドで開かれました。

この日は晴天に恵まれて絶好のゲートボール日和となり各地区から二十一チーム、約百七十人が参加して熱戦が繰り広げられました。決勝戦は午後二時三十分から行われ「中川辺第二」と「上川辺上」が対戦。接戦の末「中川辺第二」がみごと初優勝を飾りました。優勝旗を手にした「中川辺第二」の選手たちは「こんな優勝旗を持ったのは初めてや」と大喜びでした。そのほか準優勝は「上川辺上」第三位は「中川辺第四」でした。

イワシのチーズフライ

イワシは頭を良くする食品と言われ、長寿の魚とも言われています。イワシにはおいがいやだという人がいますが、牛乳でにおいを消し、安くて栄養もある大衆魚のこんな料理はいかがでしょうか。

【材料（五人分）】 イワシ 小十匹、塩・こしょう少々、牛乳大さじ一、うす切りチー

ズ三枚、のり約一枚、青じそ 葉五枚、卵一個、アスパラ 五〜六本、小麦粉、パン粉、揚げ油

【作り方】 ①イワシは腹



を開いて骨をはずし、身を上にしてバットに並べ、塩・こしょう・牛乳をふりかけます。

②チーズは二センチ幅でイワシと

同じ長さに切ります。③のり、青じそも同様に切ります。④イワシの水気を切って小麦粉をふり、チーズのりを挟み、小麦粉、たまご、パン粉の順につけ一七〇度の油で揚げます。⑤アスパラなど季節のものを添えます。ケチャップソースをかけて食べるというふうおいしくなるでしょう。食卓にもっともつと魚を増やしたいものです。

☆ ☆ ☆

募 集 し ま す

三日里親

県里親連合会では、今年も三日里親を募集します。

これは、当連合会が県内の養護施設に入所している児童の中で、家庭の事情などから夏休みに帰省する家庭もない児童を民間篤志家に三日間預ってもらい

温かい家庭の味を体験させようと昨年から行っているものです。

▼委託期間 8月20日から8月22日まで

▼申込方法 役場住民課に三日里親申込書の用紙がありますから、所要事項を記入して役場窓口へ提出してください。

▼申込期間 7月1日から7月20日まで

▼委託する児童の通知 里親になられる方には、8月15日ごろまでに児童委託通知書を送付します。

詳しいことは、役場住民課(電2511内線18)または中央児童相談所(電0582731111内線18)へ

消費生活通信

相 談



★肢体不自由児の巡回相談

手、足、体幹機能に障害のある児童を対象に、次の日程で巡回相談を行います。

▽日時 6月24日(金)午前9時

30分から午後3時まで

▽場所 中央公民館大研修室

▽相談員 県中央児童相談所相談員一人

▽申込先 役場住民課(電2511内線18)まで

★交通事故の相談はお気軽に

岐阜自動車保険請求相談センターでは、交通事故相談に無料で応じています。◇とき▽平日

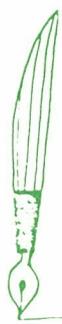
午前9時半～午後4時半▽土曜

日11午前9時半～正午◇ところ

岐阜市金町八一〇、パレワシ

ントンビル七階、岐阜調査事務所

所内岐阜自動車保険請求相談セ



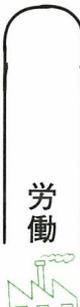
ゆあさひでお(五歳) 西栃井 (第一保育園)



相 談



労 働



★「インチキ内職」に気を

つけて いわゆる「インチキ内職」

による被害が増えています。高

収入の仕事があるという新聞折

り込みや張り紙などの広告に誘

われて、さまざまな名目で高い

費用を払わされたものの、仕事

の内容や収入については約束と

違ふということがよくあります。

「インチキ内職」の被害を防

ぐためには、内職を希望する人

自身の注意が肝心です。内職を

始めるときに、工賃その他の委

託条件をきちんと確認する慎重

さが必要です。

「インチキ内職」に関する相

談、お問い合わせは岐阜労働基

融 資



★中小企業者に小口融資

町内の中小企業者の経営安定を図るため、県信用保証協会の追認保証による融資を次のとおりおこないます。

▽貸付限度額 三百万円以内

▽資金使途 運転資金・軽易な設備資金

▽貸付期間 六十カ月以内

▽貸付利率 年利六・二％ただし、県小口融資貸付利率などの改定があった場合は、年利を改定することもあります

▽信用保証料率 年〇・六五％

▽締め切り 6月30日

▽申込先 役場産業課(電2511内線36)または商工会(電2327)へ

電 波



★電波は正しく使いましょ

今日、電波は、テレビ・ラジオをはじめ重要無線通信・アマチュア無線およびパーソナル無線と社会のあらゆる方面で利用され、国民生活にとって欠かせ

ない存在となっています。電波の利用にあたっては電波法のルールに従い正しく利用し、みんなが電波社会の秩序を守っていかなければなりません。

このため、郵政省電波管理局では、不法無線局をなくし電波法違反を未然に防止するため、次のことを呼びかけています。

一、無線局を開設しようとするときは、郵政大臣の免許を受けましよう。

二、無線局を不法開設している人は、直ちに空中線および送受信機などの無線設備を取りはずしてください。

三、アマチュア無線局を開設しようとする人は、アマチュア無線技士の資格を取り、郵政大臣の免許を受けて正しく使いましよう。

四、パーソナル無線局を開設しようとする人は、郵政大臣の免許を受けて正しく使いましよう。

五、市民ラジオを使用する人は、技術基準適合証明を受けた無線設備を使いましよう。

六、違法な無線設備を使用する者で構成された違法なクラブには、加わらないようにしましよう。

七、電波法の一部が改正され、本年一月一日から不法無線局の運用の事実がなくても、無線局

講座の受講者

毎日の実生活や社会に役立つ基礎知識を身につけるための受講者を募集します。

▽学習期間 昭和58年9月から昭和59年2月まで

▽申込先 役場企画室 (電2511内線35)へ

郵便



★郵便受箱の設置にご協力を郵便局では、みなさんからお

預かりした郵便物を濡らしたり、一年以下の懲役または二十万円以下の罰金に処せられます。なお、不法無線局を運用すると同様の罰に処せられます。

預かりした郵便物を濡らしたり、一年以下の懲役または二十万円以下の罰金に処せられます。なお、不法無線局を運用すると同様の罰に処せられます。

- (4月中の届け出)
- 【出生】
- 上川辺 井戸 博章 隆明 長男
 - 中川辺 伊藤 孝憲 龍二 長男
 - 西栃井 堀江 亮 博 長男
 - 下川辺 有本 良美 正美 長女
 - 比久見 牧田 侑子 治久 長女
 - 下吉田 赤坂 佳紀 政美 長男
 - 下麻生 高橋 祐子 芳隆 長女
 - 上川辺 村山 里美
 - 上川辺 美濃加茂市 藤井 辰美
 - 上川辺 青田 英司
 - 上川辺 美濃加茂市 小栗 あや
 - 上川辺 石原 悦子
 - 上川辺 御嵩町 西村 洋一
 - 上川辺 長谷川 敬子
 - 中川辺 八百津町 金井 徳保
 - 中川辺 古澤三智子
 - 中川辺 富加町 藤村 元弘
 - 中川辺 矢鳴 ゆり
 - 中川辺 美濃加茂市 高井 信行
 - 中川辺 羽田野正博
 - 中川辺 愛知県 大橋 今日子
 - 中川辺 平岡 弘邦
 - 西栃井 湯浅 孝子
 - 西栃井 美濃加茂市 小野田 勉
 - 下川辺 福田伊津子
 - 下川辺 白川町 汲田 賢司
 - 下川辺 木下 美雪
 - 関市 鬼頭 道明
- 【結婚】
- 下川辺 鈴木 光広
 - 下川辺 御嵩町 横山 若枝
 - 下川辺 奥村 幸司
 - 福島 加藤 恵子
 - 福島 八百津町 稲垣 伸作
 - 福島 横山 桂
 - 比久見 前田 良二
 - 比久見 萩原町 金子 恵子
 - 比久見 大脇 貴子
 - 比久見 可児市 伊藤 敏彦
 - 比久見 佐伯 明美
 - 下麻生 美濃加茂市 小島 佐俊
 - 下麻生 中川 明美
 - 下麻生 愛知県 座馬 丈夫
 - 下麻生 加藤 英幸
 - 下麻生 御嵩町 貝川みち子
 - 【死亡】
 - 者、年齢、世帯主の順
 - 石神 額綱 米一 73歳 俊美
 - 中川辺 渡辺 はる 69歳 治美
 - 西栃井 幸村 久 34歳 初枝
 - 下飯田 大脇すすゑ 90歳 芳

保健だより



動悸・息切れと健康

血圧が高い人は要注意

胸にドキドキと心臓の拍動を感じることを動悸といいますが、心臓の拍動が不規則になったり、いつもより強くなったり、速くなったりするときに感じる現象です。動悸を覚えるからといって、それはいつも心配した現象であるとは限りません。例えば、

なったときにこの拍動が乱れることがあります。普通はすぐに治ります。しかし、これがいつも起きたり、不快な感じが強かったりすれば診察を受けた方がいいでしょう。現在あるいは過去に、心臓病がある場合、血圧が高い場合などに、動悸を覚えるよう

貧血のときによくありますが、これは肺気腫(肺が過度に空気を含んで拡張する病気)が原因となることがよくあります。肺気腫の息切れは、年をとるとともにひどくなる傾向があります。六十歳を超えた人の五人に一人は肺気腫といえます。たばこはやめ、空気が

すこし早めに走った後、しばらくの間はだれでも心臓の鼓動を感じるがありますが、これはごく当たり前のことで心配ありません。心臓は普通、規則正しく拍動しています。たばこの吸い過ぎ、コーヒーやお茶の飲み過ぎ、不安や心配な気持ち

なことがあれば、病気は一歩進んだと考えられますから、できるだけ早く医師に相談してください。心電図をとり、脈拍数やリズムの乱れを検査する必要があります。また、すこし歩いて息切れを覚える場合も要注意です。心臓の力が弱くなったときや、

のいい所でゆっくり深呼吸をしてみてください。動悸・息切れのほとんどは自覚症状があります。精神的な心の動揺が影響することもあります。すべてが病気とはいえませんが、知らず知らずのうちに見逃さないよう、すすんで検診を受けましょう。

おわびと訂正

広報五月号の七ページ、ふれあいの泉「誕生の欄で、本文中「山本美喜子さん(六〇)」とあるのは「山本三喜子さん(四八)」の誤りでした。十二ページの短歌で遠藤豊さんの作品中「栗残して行きぬ」とあるのは「栗残して行きぬ」の誤りでした。おわびして訂正します。

町史編さん室だより



— その90 —

(一七一一)に作られたものである
写真左上。

絵馬 (1)

奉 岩寛保式成年

掛 (武者像)

寶 七月吉日

前 笹今平

八幡神社(下川辺)に掲額されている人物額で、寛保二年(一七四二)に奉納されたものである。

時文久三 亥孟秋吉日

奉 願主寅年男

納 (神馬と供男二人)

太部古天神社(中川辺)境内の金毘羅神社に掲額されている絵馬で、文久三年(一八六三)に奉納されたものである写真左。



奉 (神馬)

大嶋氏

金毘羅神社に掲額されている絵馬で、旗本大嶋氏の寄進であるが年号不詳。

狛犬 (2)

濃州加茂郡鹿塩村

神明宮

元禄九年子ノ六月吉日

春日神社(鹿塩)に所蔵されている土製のもので、元禄九年(一六九六)に作られたものである。



正徳三仲秋吉日

天王社文壽院

久尻範菴

黒田作左衛

太部神社(比久見)に所蔵されている瓦製のもので、正徳三年

来客の多い家庭

父親の仕事の種類などにより習慣は、一部を除いてはま

りませんが、お客が多い家庭とだあまり定着していません。

そうでない家庭とがあります。最近では他人の家庭を訪ねたり、

自分の家庭に客を招待するという機会が、減ってきている

のではないかと思われま

す。これは、家屋そのものに接

客用の場所が十分ないこと、喫茶店など会合する場所がた

くさんできたことなどが理由として考えられ、欧米のよう

に気軽に客を自宅に招くとい

う習慣は、一部を除いてはま

りませんが、お客が多い家庭と

そうでない家庭とがあります。

最近では他人の家庭を訪ねたり、

自分の家庭に客を招待するとい

う機会が、減ってきている

のではないかと思われま

す。これは、家屋そのものに接



客の多い家庭で育った子供は、いろいろな考えや性格を持つ大人たちと幼少の時から接触できて幸せです。

子供の年齢にもよりますが、

子供も客のいる席に出るのは

よいことです。他人の話を聞

くことよって多くのことを

知ることが出来ます。親が、

客の前ではお世辞を言い、帰

ったあとその客の悪口を言う

のは好ましくありません。父

親や母親が客をどうもてなす

か、ということを通して子供

は人と付き合う基本を学んで

いくのです。

中学生の川柳

お手伝いお皿を割って叱られる

若井康代

コンタクト落せばびっくり二万円

長尾健一

朝ねぼうパンをくわえて家を出る

平岡典子

お母さんいつまでたっても若づくり

毛利好江

参観日うちへ帰れば叱られる

松島和也

母親が服はどれにと参観日

酒向祐芳

試験前勉強もせず神だのみ

佐伯秀明

お客さん来るとわたしのおやつ減る

横田美穂子

わたしたちの作品

実父の忌を忘れ過ごせし年令となり

過去帳飾り普門品誦す 肥田 千里

大破せる事故車のガラス散らばるを

生あるごとく朝陽の射せる 神田 繁子

脆くなりし心やすやすと妥協して

悔いも持たずに日日重ねゆく 横山寿子

真白なる反物いくつか裁ち終えて

生れ来る孫を思いて縫える 長瀬 宗子

のうのと牧草食める牛らいて

駒ヶ根山に残雪光る 赤坂富美子

それぞれのたつき歩みて三十年

それぞれの顔伊勢に詣りぬ 山田 君子

若き等の夕餉にのぞむ顔晴れて

艇庫よりもどる青春の息吹き 肥田節子

戦国の世に果てしたふ女性性の墓に

落ち椿の花重なりて燃ゆ 垣下 博子

職退きてリズム変りし日日を

妻は明るく話しかけきぬ 紅谷 茂